

平成 31 / 令和 元 年 度

(平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日)

事 業 報 告 書

公益財団法人 松尾学術振興財団

平成 31 / 令和 元 年 度 事 業 報 告 書

1. 事業の状況

(1) 自然科学の学術研究助成（公益目的事業1）

4月22日に当財団の助成に関係すると思われる全国の123の大学・研究機関等に推薦依頼を行った。7月31日の締め切りまでに44件の応募があり、下記の7件が採択された。

第32回（平成31/令和元年度）松尾学術研究助成

| 推薦者 | 研究題目 | 代表研究者 | 助成 金額 (万円) |
|-----------------------------------|--|--------------------------------------|------------------|
| レーザー学会 会長 久間 和生 | 水の窓域軟X線を用いた液相の過渡吸収分光法の開拓 | 京都大学 准教授 足立 俊輔 | 320 万円 |
| 日本物理学会 会長 永江 知文 | ボース・アインシュタイン凝縮体におけるメゾスコピック輸送現象 | 早稲田大学 高等研究所 講師 内野 瞬 | 300 万円 |
| 東京農工大学 理事(学術・研究担当) 荻原 勲 | 気体固体間角運動量移行の力学的検出装置の開発 ～ Beth の実験の検証を通じて | 東京農工大学 教授 畠山 温 | 260 万円 |
| 東京工業大学理学院 学院長 山田 光太郎 | レーザー支援原子運動量分光の開発による強光子場中の分子ダイナミクスの研究 | 東京工業大学理学院 准教授 山崎 優一 | 350 万円 |
| 北見工業大学 学長 鈴木 聡一郎 | 高品質異方性レーザーセラミックスの開発 | 北見工業大学 准教授 古瀬 裕章 | 320 万円 |
| 大阪大学 レーザー科学研究所 所長 兒玉 了祐 | パワーレーザーを駆使したブラックホール連星系からの硬X線放射駆動機構の実験的検証 | 大阪大学 レーザー科学研究所 副所長・教授 藤岡 慎介 | 300 万円 |
| 大阪大学 先導的学際研究機構 機構長 八木 康史 | 冷却イオン中振動量子の伝搬に関する研究 | 大阪大学 先導的学際研究機構 特任准教授 豊田 健二 | 350 万円 |
| 合 | 計 | (7 件) | 2200 万円 |

<研究助成募集要項抜粋>

1. 助成対象研究分野

原子物理学及び量子エレクトロニクス・量子光学の基礎に関する実験的・理論的研究及びこれらを手段として用いた物理学の基礎に関する研究

新しい創造的な発展の可能性を持つ萌芽的な研究を特に歓迎します。

- a)新レーザー分光学
- b)量子エレクトロニクスと新計測技術
- c)物質波・物質波光学
- d)電磁場中の原子過程
- e)特異な原子・分子構造とダイナミクス

2. 助成対象者

大学等の研究機関において自然科学分野の研究に従事している若手研究者
推薦者 財団の定める全国の大学、研究機関、関係学会等

3. 助成金額と助成件数

助成金額 総額 2200 万円

件数 5～6 件(1 件当り 200～500 万円)

助成金の使途 (1) 設備備品費 (2) 消耗品費 (3) 旅費 (4) 謝金
(5) その他

4. 募集締切 7月31日

5. 審査・決定

自然科学選考委員会の選考を経て、理事会において決定する。(9月中旬予定)

自然科学選考委員会

(委員長) 加藤 義章 北野 正雄 山崎 泰規 渡辺 信一
白田 耕藏

(2) 褒賞 (公益目的事業2)

松尾財団宅間宏記念学術賞

学術研究助成とセットで全国に関連する大学、研究機関に推薦依頼を行った結果、4件の推薦をいただいた。厳正に審査を行った結果、下記の授賞が決定した。

第23回(平成31/令和元年度)松尾財団宅間宏記念学術賞 賞金200万円

| 推薦者 | 研究題目 | 受賞者 |
|----------------------------------|------------------------------|----------------------------------|
| 東京大学大学院 理学系研究科 科長 武田 洋幸 | 気体分子の配列・配向制御技術に関する先駆的研究とその応用 | 東京大学大学院 理学系研究科 教授 酒井 広文 |

<学術賞推薦要項抜粋>

1. 対象となる研究分野
原子物理学と量子物理学・量子エレクトロニクスの研究
2. 授賞対象者
原子物理学と量子物理学・量子エレクトロニクスの研究で特に業績が顕著と認められる研究者で現に研究の第一線で活躍している者を優先(若手研究者を優先)
3. 推薦者
財団の定める全国の大学、研究機関、関係学会等
4. 賞金と件数
原則として1件 賞金200万円
5. 募集締切り
7月31日
6. 審査・決定
審査は前記学術研究助成の選考委員会が当り、理事会において決定する。

◎ 研究助成金及び松尾財団宅間宏記念学術賞の贈呈式は10月25日如水会館にて行った。

(3) 調査研究事業（公益目的事業3）

公3研究活動は人類の文化における自然科学研究の価値を、自然科学と人文科学の両面で正しく評価する基盤を確立し、その成果を世に問う出版への積みあげ活動であるが調査研究担当者が不在の為、今後の方向性を理事会で協議している。

(4) 松尾音楽助成（公益目的事業4）

平成31/令和元年度は、4月22日音楽大学16校及び管弦楽団9団体に推薦依頼を行った。応募（推薦）7件を受けオーディション及び選考委員会での討議を経て次の3件が採択となった。

第30回(平成31/令和元年度)松尾音楽助成

| 推薦者 | 団体名 | 助成期間 | 助成金額 |
|-------------------------------------|--|------|-------|
| Kuss Quartett Prof. Oliver Wille | Quartet Berlin-Tokyo 守屋 剛志(Vn) ヴァイオリニスト Dimitri Pavlov (Vn) ヴァイオリニスト Gregor Hrabar (Va) ヴィオリスト 松本 瑠衣子 (Vc) チェリスト | 1年 | 250万円 |
| 東京藝術大学 澤 和樹 学長 | HONO Quartet 岸本 萌乃加(Vn) ヴァイオリニスト 林 周雅(Vn) ヴァイオリニスト 長田 健志(Va) ヴィオリスト 蟹江 慶行(Vc) チェリスト | 1年 | 150万円 |

第 30 回(平成 31/令和元年度)松尾音楽助成 (奨励金)

| 推 薦 者 | 団 体 名 | 助成期間 | 助成金額 |
|----------------------|--|------|-------|
| 桐朋学園大学 磯村 和英 特任教授 | カルテット・アマービレ 篠原 悠那(Vn) ヴァイオリニスト 北田 千尋 (Vn) ヴァイオリニスト 中 恵菜(Va) ヴィオリスト 笹沼 樹 (Vc) チェリスト | 1 年 | 50 万円 |

<音楽助成推薦要項抜粋>

1. 助成対象者

本格的に弦楽四重奏に取り組んでいる若手の弦楽四重奏団のメンバーでメンバーの平均年齢が 35 歳までとする。〈メンバーの所属に関する制限はない。同一機関、同一大学等でもよい。〉

2. 採択件数 1～2 件

3. 助成金額 上限は 500 万円

4. 助成期間 1 年

5. 助成金の使途

研修・研鑽のためなら特に制限を設けていないが、助成決定の際に財団と協議の上定める。

6. 応募(推薦) 音楽界有識者の推薦による。

7. 推薦締切日 令和元年 12 月 24 日

8. 選考方法

1)第 1 次審査 書類選考

2)第 2 次審査 オーディション 日時 令和 2 年 2 月 10 日

場所 OAG ドイツ東洋文化研究協会ホール

第 1 次合格者に対するオーディションで、課題曲は次のとおり。

A. すべてのハイドンの弦楽四重奏曲、またはすべてのモーツァルトの弦楽四重奏曲

B. ベートーヴェンの弦楽四重奏曲 op.18 全曲、op.59 全曲、op.74、op.95

C. 20 世紀に書かれた弦楽四重奏曲

以上の A. B. C から各 1 曲を選択し、計 3 曲を演奏します。

注) 2 年連続でこのオーディションに参加するグループは、A. B. C のすべてにおいて、前年度とは違う課題曲を選択してください。

尚、前々年度以前に演奏した課題曲を再度選択することは可能です。

選考は次の選考委員会で行う。

(委員長) 原田幸一郎 大谷 康子 川崎 和憲 澤 和樹
山崎 伸子

9. 助成の決定 選考委員会の選考を経て、財団理事会において決定する。

10. 研修成果発表 令和 3 年 2 月 23 日(月・祝日)マツオコンサートにおいて成果発表演奏会を行う。

マツオコンサートの開催

音楽助成の成果発表の場としてのマツオコンサートは昨年度助成の下記 3 団体により次のとおり開催の予定であったが新型コロナウイルスの感染が広がる中、政府イベント中止要請を受け大変残念ではあるがやむなく中止とした。

第 27 回マツオコンサート

開催日 令和 2 年 3 月 1 日 13 時 30 分～

会場 よみうり大手町ホール

出演者と曲目

Thaleia Quartet

山田 香子 (Vn) ヴァイオリニスト

二村 裕美 (Vn) ヴァイオリニスト

渡部 咲耶 (Va) ヴィオリスト

石崎 美雨 (Vc) チェリスト

曲目

ヤナーチェク：弦楽四重奏曲 第 2 番「ないしょの手紙」

Quartet Integra

三澤 響果(Vn) ヴァイオリニスト

菊野 凜太郎 (Vn) ヴァイオリニスト

山本 一輝(Va) ヴィオリスト

築地 杏里(Vc) チェリスト

曲目

ベルク：弦楽四重奏曲 Op.3

ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第 16 番 へ長調 Op.135

Quartet Berlin-Tokyo

守屋 剛志(Vn) ヴァイオリニスト

Dimitri Pavlov (Vn) ヴァイオリニスト

Gregor Hrabar (Va) ヴィオリスト

松本 瑠衣子 (Vc) チェリスト

曲目

ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第 14 番 嬰ハ短調 Op.131

2.会議等に関する事項

(1) 理事会

| 開催年月日 | 議 事 事 項 | 会 議 の 結 果 |
|----------------|---|--|
| 令和元年 5 月 16 日 | 1)平成 30 年度事業報告書承認の件 2)平成 30 年度決算報告書承認の件 3)任期満了に伴う理事・監事候補者推薦の件 | 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 |
| 6 月 13 日 | 4)評議員会開催の件 (決議の省略により開催) 代表理事、業務執行理事選定の件 | 全会一致で承認・可決 提案内容に全員賛成の回答 |
| 9 月 20 日 | (決議の省略により開催) 1)第 23 回松尾財団宅間宏記念学術賞決定の件 2)第 32 回松尾学術研究助成決定の件 | 提案内容に全員賛成の回答 提案内容に対し全員賛成の回答 |
| 令和 2 年 3 月 4 日 | 1)第 30 回(平成 31/令和元年度)松尾音楽助成決定の件 2)令和 2 年度事業計画書承認の件 3)令和 2 年度収支予算書承認の件 | 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 |

(2)評議員会

| 開催年月日 | 議 事 事 項 | 会 議 の 結 果 |
|---------------|--|--|
| 令和元年 6 月 13 日 | 1)平成 30 年度事業報告書承認の件 2)平成 30 年度決算報告書承認の件 3)任期満了に伴う理事・監事改選の件 | 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 |

(3)選考委員会

| 開催年月日 | 議 事 事 項 | 会 議 の 結 果 |
|---------------|---|--------------------|
| 令和元年 8 月 26 日 | 平成 31/令和元年度松尾学術賞審査・採択候補選出の件 平成 31/令和元年度松尾学術研究助成審査・採択候補選出の件 | 全員一致で決定 全員一致で決定 |

3.処務事項

| 発生年月日 | 項 目 | 備 考 |
|------------------|--|-----|
| 平成 31 年 4 月 22 日 | 第 23 回松尾学術賞・第 32 回松尾学術研究助成候補者推薦方依頼（大学他） | |
| 4 月 22 日 | 第 30 回音楽助成候補推薦方依頼（音楽大学他） | |
| 5 月 16 日 | 理事会 平成 30 年度事業報告書・収支決算書承認の件他 | |
| 6 月 13 日 | 評議員会 平成 30 年度事業報告書・収支決算書承認の件 | |
| 6 月 27 日 | 平成 30 年度事業報告書・収支決算書 届出 公益認定等委員会 | |
| 7 月 31 日 | 松尾学術賞・学術研究助成推薦応募締切り | |
| 8 月 21 日 | 年報「第 31 回事業報告書 2018」刊行 | |
| 8 月 26 日 | 松尾学術賞・研究助成の選考委員会 | |
| 9 月 20 日 | 決議の省略による理事会 第 23 回松尾財団宅間宏記念学術賞・第 32 回松尾学術研究助成決定 | |
| 10 月 25 日 | 第 23 回松尾財団宅間宏記念学術賞 第 32 回松尾学術研究助成金 贈呈式開催 如水会館 | |
| 12 月 1 日 | マツオコンサート入場希望者受付開始 | |
| 令和 2 年 2 月 10 日 | 第 30 回松尾音楽助成オーディション・選考委員会 | |
| 3 月 1 日 | 第 27 回マツオコンサート よみうり大手町ホール 中止（新型コロナウイルスの影響が広がる中、感染拡大に考慮） | |
| 3 月 4 日 | 理事会 1)第 30 回(平成 31/令和元年度年度)松尾音楽助成決定の件 2)令和 2 年度事業計画書承認の件 3)令和 2 年度収支予算書承認の件 | |
| 3 月 19 日 | 令和 2 年度事業計画書 届出 公益認定等委員会 | |